

2026年4月15日

日本初^{※1}、パナソニックと中部電力ミライズが冷蔵庫の DR 自動運転サービス^{※2}を開始
—— 面倒な操作なしで電力にやさしい生活を ——



パナソニック株式会社(以下、パナソニック)は、中部電力ミライズ株式会社(以下、中部電力ミライズ)と共同で、電力需給の最適化に応じて冷蔵庫の稼働を自動で制御する「デマンドレスポンス(以下、DR)自動運転サービス」を開発、2026年4月15日より申込受付を開始します。本サービスは、電力会社の要請に応じて電力使用を抑制する「下げDR」と、使用を増やす「上げDR」の双方に自動対応するもので、日本初^{※1}の取り組みとなります。

近年導入が進む太陽光や風力などの再生可能エネルギーは、天候の影響を受けやすいため発電量が安定せず、時間帯や季節によって電力需給のバランスが崩れやすいという課題があります。この状況を補う仕組みとして、電力を使う側が使用量やタイミングを調整(ピークシフト)して需給を支える DR の重要性が高まっています。しかし、従来の家庭向け DR は、「通知を受けて、その都度行動する必要がある」「やり方がわからない」「忙しくて対応できない」など生活者の手間が多く、継続的な参加が課題となっていました。

パナソニックは、家庭内での消費電力量の割合が高く、かつ常時通電している冷蔵庫に着目。中部電力ミライズとの共同実証の結果^{※3}を踏まえて、電力会社からの要請に応じて稼働を自動制御する DR 機能搭載の冷蔵庫を開発しました。専用アプリで設定すると、下げ DR 時は事前に庫内を冷やすことで要請時間にコンプレッサーを停止して電力使用を抑制、上げ DR 時には扉の開閉が少ない夜間などに実施するケースが多い霜取り運転のタイミングを変更して要請時間に電力を使用するなど、庫内の食品への影響を抑えながら中部電力ミライズからの DR 要請に応じて冷蔵庫の稼働状況を自動制御。無理なく電力需給の調整に貢献できます。

パナソニックは、ノンフロン冷媒をいち早く実用化したほか、コンプレッサーおよび断熱技術、温度制御技術の進化を通じて省エネ性能を追求し、冷蔵庫の環境負荷低減に取り組んできました。今後も技術力をいかし、ライフスタイルの変化を先取りする価値提案と高品位なモノづくりを通じて、より良い暮らしと持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【本サービスの概要】

■冷蔵庫が賢く電気を使う「DRモード」

パナソニックのクラウドサーバーが中部電力ミライズからの DR 要請を受信すると、スマートフォンアプリを介して冷蔵庫へ DR 運転信号を送信。信号を受信した冷蔵庫は、要請内容に応じた準備運転を行い、庫内の食品への影響を抑えながら要請時間になると DR 自動運転を行います。

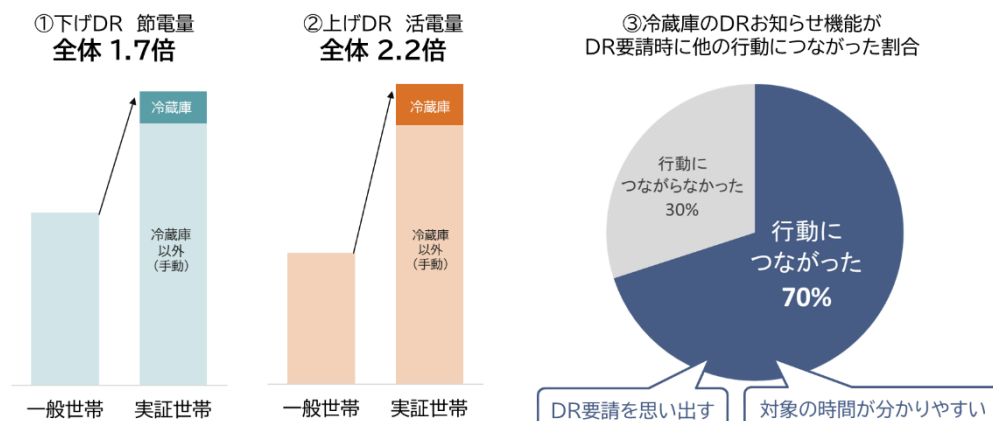
- ・下げ DR: 要請を受けると、事前に庫内を予冷。要請時にはコンプレッサーを停止して電力使用を抑制します。
- ・上げ DR: 扉の開閉が少ない夜間などに実施するケースが多い霜取り運転の実施タイミングをシフトさせて、要請時間に電力を使用します。



■家庭内のエネルギー意識を高める「DR お知らせ機能」

DR 要請時間の開始・終了を冷蔵庫が音で通知する「DR お知らせ機能」を搭載。DR 要請時間の実施タイミングを容易に把握することが可能です。また、DR 要請はメールやアプリなどを用いた個人宛のプッシュ通知が一般的ですが、本機能により家族の誰もが DR 要請時間中であることを認識しやすくなり、家庭内での自主的な行動を促すきっかけになることが期待されます。

中部電力ミライズとの共同実証では、被験者の 7 割が「お知らせ機能が、他の DR 要請に応える行動につながった」と回答し、下げ DR・上げ DR の双方で行動変容が確認されています。

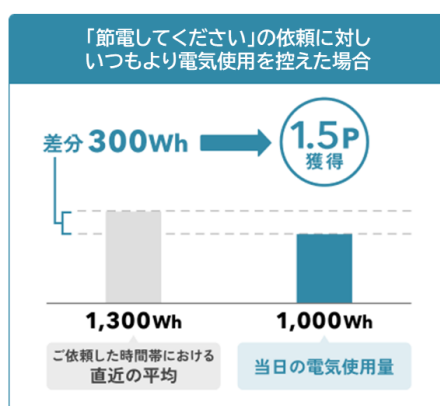


■DR 要請への貢献量に応じた「ポイント進呈」

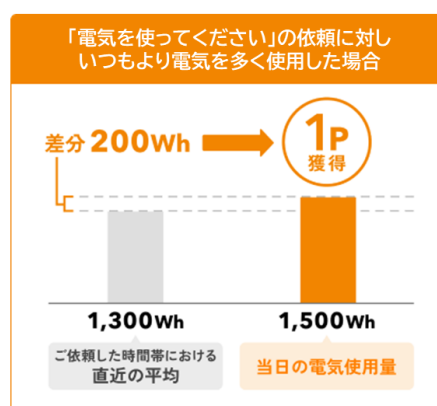
中部電力ミライズが提供する「NACHARGE Link KADEN(ネイチャージリンク カデン)」へサービス申し込みすると、DR 要請に対する電力使用量の変化(直近の平均使用量との差)を貢献量としてポイント化。ポイントは1カ月単位で集計し、翌月上旬にまとめて進呈されます。本サービスを利用すると、冷蔵庫の DR 自動運転ならびに家庭内での自主的な行動により、貢献量の増加が期待されます。さらに、今回、行動誘因型 DR「NACHARGE Action(ネイチャージアクション)」と比べて特別ポイントも進呈。成果を見える形で還元し、DR への継続的な参加を後押しします。

<ポイントの算定イメージ>

ご依頼した時間帯における「直近の平均使用量」が1,300Whのご家庭の場合



※一例としてポイント単価5P/1,000Whで計算しています。



※ポイントは各月で集計します。その際、小数点以下は切り上げます。

- ※1 家庭用冷蔵庫を活用した DR サービスとして(2026年4月15日時点、パナソニックおよび中部電力ミライズ調べ)
- ※2 DR 自動運転サービスのご利用には、中部電力ミライズが提供する「NACHARGE Link KADEN(ネイチャージリンク カデン)」へサービス申し込みの上、DR 機能を搭載したパナソニック製冷蔵庫およびパナソニックのサービスアプリ「Kitchen Pocket」上での初期設定が必要です
- ※3 [プレスリリース: 冷蔵庫自動デマンドレスポンス制御の有用性と受容性を確認\(2024年12月10日\)](#)

<お客様からのお問い合わせ先>

パナソニック株式会社 冷蔵庫ご相談窓口 TEL:0120-878-693

〔お問合せ受付時間:9:00-18:00 月~土曜日(祝日・正月三が日を除く)〕

<報道関係者からのお問い合わせ先>

パナソニック株式会社 広報部: pchq_prstaff@ml.jp.panasonic.com

以上